



平成27年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月12日
東

上場会社名 オーエス株式会社 上場取引所
コード番号 9637 URL <http://www.osgroup.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 芳樹
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 森口 武士 (TEL) 06-6361-3554
四半期報告書提出予定日 平成26年6月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第1四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第1四半期	1,851	7.2	122	△18.7	78	△26.5	48	△8.3
26年1月期第1四半期	1,727	4.0	150	38.7	107	72.7	52	128.0

(注) 包括利益 27年1月期第1四半期 34百万円(△64.8%) 26年1月期第1四半期 97百万円(193.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第1四半期	3.06	—
26年1月期第1四半期	3.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年1月期第1四半期	31,012	8,395	27.1
26年1月期	30,822	8,401	27.3

(参考) 自己資本 27年1月期第1四半期 8,395百万円 26年1月期 8,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年1月期	—	—	—	—	—
27年1月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,650	6.1	180	△20.9	100	△32.1	50	△31.0	3.15
通期	9,290	15.8	600	△3.2	430	△4.6	250	—	15.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年1月期1Q	16,000,000株	26年1月期	16,000,000株
② 期末自己株式数	27年1月期1Q	151,546株	26年1月期	150,717株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年1月期1Q	15,849,005株	26年1月期1Q	15,852,872株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年2月1日～平成26年4月30日）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動もみられ、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のなか、当社グループは、安定した経営・財務基盤を実現するべく、本年3月、東京都大田区所在の事業用賃貸マンションを新たに取得するなど、最適な事業ポートフォリオの構築に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の成績は、売上高1,851,699千円と前年同期に比べ124,533千円（7.2%）の増収となりましたが、営業利益は122,599千円と前年同期に比べ28,253千円の減益、経常利益は78,746千円と前年同期に比べ28,330千円の減益、四半期純利益は48,522千円と前年同期に比べ4,395千円の減益となりました。

経営成績をセグメント別でみると次のとおりであります。

(映画事業)

映画事業におきましては、邦画作品では「土竜の唄 潜入捜査官 REIJI」「映画ドラえもん 新・のび太の大魔境〜ペコと5人の探検隊〜」「名探偵コナン 異次元の狙撃手（スナイパー）」、洋画作品では「ホビット 竜に奪われた王国」「アナと雪の女王」「LIFE!」などの話題作を上映いたしました。また、映画以外のデジタルコンテンツとして“MONGOL 800”や“BEAST”など、国内外の人気アーティストのライブの生中継や、「相棒-劇場版III- 巨大密室！特命係 絶海の孤島へ」の出演者による舞台挨拶を実施するなど、他館との差別化を図り、より魅力ある施設づくりを目指してまいりました。

また、社会貢献活動といたしまして、「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」に参画し、特別上映会の実施を通じて「心豊かな地域文化の確立」に取り組んでまいりました。

昨年4月に開業した「OSシネマズ神戸ハーバーランド」が当第1四半期連結累計期間を通して稼働したことにより、売上高は768,729千円と前年同期に比べ141,570千円（22.6%）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は58,706千円と前年同期に比べ2,586千円の増益となりました。

(不動産賃貸・販売事業)

不動産賃貸業界におけるオフィスビル市況は、依然として賃料相場の弱含みが継続しております。東京都心5区におきましては、企業の移転需要が堅調に推移し、本年4月末の空室率は6.6%と改善の動きがみられたものの、大阪ビジネス地区におきましては、市況に停滞感がみられ、空室率は9.5%と横ばいのまま推移いたしました。

このような状況のなか、不動産賃貸事業におきましては、当第1四半期連結累計期間末における保有ビルの稼働率は96.2%を維持したものの、賃料水準につきましては厳しい状況で推移いたしました。

なお、本年3月に取得した事業用賃貸マンション「メルヴェーユ馬込」は、順調に稼働しております。

不動産販売事業におきましては、共同事業者と推進しております分譲マンション「プレジアブラン東園田」の売上を計上しております。

また、分譲マンション「プレジア守口松町 ザ・レジデンス」の販売を本年2月より開始し、11月竣工に向け鋭意取り組んでおります。

売上高は687,117千円と前年同期に比べ29,377千円（4.1%）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は昨年12月に賃貸ビルを譲渡した影響もあり、188,506千円と前年同期に比べ40,342千円の減益となりました。

(ホテル事業)

大阪のホテル業界は、国内旅行やビジネス利用の宿泊需要に加え、訪日旅行者が増加し、堅調に推移しております。

このような状況のなか、「梅田OSホテル」におきましては、一部客室の改装を行い、快適な空間の提供に取り組んでまいりました。また、インターネット宿泊サイトにおいて、お客様のニーズに合わせたプランを提供するとともに、適切な販売管理を推進し、稼働率及び収益性の向上に努めてまいりました。

売上高は176,747千円と前年同期に比べ10,197千円（6.1%）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は42,126千円と前年同期に比べ17,115千円の増益となりました。

(飲食事業)

飲食業界は、消費マインドに回復の兆しがみられるものの、企業間競争の激化や食材の高騰など、依然として厳しい経営環境が継続しております。

このような状況のなか、飲食事業におきましては、接客力の向上と安全・安心な商品の提供に努め、顧客満足度の向上を図ってまいりました。

売上高は89,071千円と前年同期に比べ3,089千円(3.6%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は4,747千円と前年同期並みとなりました。

(その他事業)

その他事業の「n a m c o三宮店」におきましては、スマートフォンの普及によるゲームの多様化の影響を受け、厳しい状況が継続しております。

売上高は130,032千円、セグメント利益(営業利益)は20,526千円といずれも前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は190,500千円の増加となりました。これは主に現金及び預金1,347,359千円の減少がありましたが、有形固定資産1,225,521千円、販売用不動産244,074千円の増加によるものであります。

負債につきましては196,298千円の増加となりました。これは主に短期借入金2,245,505千円及び未払法人税等176,259千円の減少がありましたが、長期借入金2,782,201千円の増加によるものであります。

純資産につきましては5,797千円の減少となりました。これは主に利益剰余金8,899千円の増加がありましたが、その他有価証券評価差額金14,285千円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月期の連結業績予想につきましては、平成26年3月17日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,373,859	1,026,499
売掛金	278,982	299,714
販売用不動産	2,217,524	2,461,598
商品	10,817	13,764
貯蔵品	4,115	4,634
前払費用	87,048	137,350
繰延税金資産	48,792	47,982
その他	41,008	15,286
貸倒引当金	△7,374	△7,385
流動資産合計	5,054,774	3,999,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,372,512	22,032,895
減価償却累計額	△11,524,433	△11,658,890
建物及び構築物(純額)	9,848,079	10,374,005
機械装置及び運搬具	311,813	311,813
減価償却累計額	△135,812	△142,251
機械装置及び運搬具(純額)	176,001	169,562
工具、器具及び備品	909,661	931,239
減価償却累計額	△660,799	△667,132
工具、器具及び備品(純額)	248,862	264,107
土地	13,692,798	14,383,586
有形固定資産合計	23,965,741	25,191,262
無形固定資産		
ソフトウェア	82,134	87,189
その他	9,935	9,793
無形固定資産合計	92,069	96,983
投資その他の資産		
投資有価証券	427,604	426,516
長期前払費用	206,155	225,113
差入保証金	611,992	610,009
建設協力金	423,336	424,898
繰延税金資産	10,504	10,239
その他	17,471	17,431
投資その他の資産合計	1,697,065	1,714,209
固定資産合計	25,754,876	27,002,455
繰延資産		
社債発行費	12,424	10,674
繰延資産合計	12,424	10,674
資産合計	30,822,074	31,012,575

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	179,821	199,425
短期借入金	6,071,831	3,826,326
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払金	54,337	81,512
未払費用	321,722	283,430
未払法人税等	219,518	43,259
未払消費税等	10,592	44,715
賞与引当金	37,752	85,742
その他	549,663	345,436
流動負債合計	7,945,240	5,409,848
固定負債		
社債	1,200,000	1,200,000
長期借入金	7,393,893	10,176,094
長期預り保証金	2,123,047	2,095,110
繰延税金負債	1,556,520	1,538,122
再評価に係る繰延税金負債	1,947,585	1,947,585
退職給付引当金	254,732	250,557
固定負債合計	14,475,779	17,207,469
負債合計	22,421,019	22,617,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,506	66,506
利益剰余金	5,008,508	5,017,407
自己株式	△93,697	△94,108
株主資本合計	5,781,317	5,789,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101,511	87,225
土地再評価差額金	2,518,226	2,518,226
その他の包括利益累計額合計	2,619,737	2,605,451
純資産合計	8,401,054	8,395,256
負債純資産合計	30,822,074	31,012,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)
売上高	1,727,166	1,851,699
売上原価	1,361,737	1,506,555
売上総利益	365,429	345,143
一般管理費	214,576	222,544
営業利益	150,853	122,599
営業外収益		
受取利息	2,225	2,322
補助金収入	-	2,363
その他	426	473
営業外収益合計	2,651	5,159
営業外費用		
支払利息	42,087	41,024
その他	4,340	7,987
営業外費用合計	46,428	49,012
経常利益	107,076	78,746
特別損失		
固定資産除却損	148	682
OSシネマズ神戸ハーバーランド開業費用	17,586	-
特別損失合計	17,734	682
税金等調整前四半期純利益	89,342	78,063
法人税、住民税及び事業税	27,552	38,969
法人税等調整額	8,871	△9,427
法人税等合計	36,424	29,541
少数株主損益調整前四半期純利益	52,918	48,522
四半期純利益	52,918	48,522

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	52,918	48,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,432	△14,285
その他の包括利益合計	44,432	△14,285
四半期包括利益	97,350	34,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,350	34,236
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	映画事業	不動産賃貸・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	627,159	716,495	166,550	85,981	130,980	1,727,166	—	1,727,166
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	36,096	—	—	—	36,096	△36,096	—
計	627,159	752,591	166,550	85,981	130,980	1,763,262	△36,096	1,727,166
セグメント利益	56,120	228,848	25,011	4,929	21,453	336,363	△185,510	150,853

(注) 1. セグメント利益の調整額△185,510千円には、セグメント間取引消去△1,612千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△183,898千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	映画事業	不動産賃貸・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	768,729	687,117	176,747	89,071	130,032	1,851,699	—	1,851,699
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	35,871	—	—	—	35,871	△35,871	—
計	768,729	722,988	176,747	89,071	130,032	1,887,570	△35,871	1,851,699
セグメント利益	58,706	188,506	42,126	4,747	20,526	314,613	△192,014	122,599

(注) 1. セグメント利益の調整額△192,014千円には、セグメント間取引消去△306千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△191,707千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。